

ラベンダーが繋ぐ絆

北海道中富良野町と 連携協力協定を締結

町

は5月20日に、「ラベンダー」を通じて交流を深めていた北海道中富良野町と、連携協力協定を結びました。



より強固な協力関係を

北海道中富良野町と美郷町は、お互いの町の花がラベンダーであるという共通点のもと、昨年5月に松田町長が中富良野町を訪問し、美郷町オリジナルラベンダーの「美郷雪華」150株を贈呈し、現在、中富良野町の町営ラベンダー園や役場庁舎前で元気に育っています。また、同時期に中富良野町の木佐町長と安井議会議長が美郷町を訪問され、本場北海道のラベンダー「濃紫早咲（ノウシハヤザキ）」を美郷町に贈呈していただきました。そのラベンダーは美郷町ラベンダー園に植栽され、来場者の目を楽しませています。

このようなラベンダーを通じた交流を継続的に行うとともに、互いの町の魅力を発信し、併せて特産品や人材の交流を推進するため、今回、連携協力協定を締結しました。

今後は、中富良野町と連携しながら、お互いの魅力ある町づくりを進めていきます。

美郷町オリジナル品種「美郷雪華」

この度、中富良野町にも贈呈し、同町のラベンダー園で元気に咲いている美郷町オリジナルラベンダーの「美郷雪華」。

このラベンダー誕生のきっかけは、平成17年までさかのぼります。

美郷町ラベンダー園に咲いていた「さきがけ」という品種の一部から白色の花が発見され、その花を「挿し穂（さしほ）」という技術を用いて増やすことを試みたところ、白い花を安定して咲かせることに成功しました。

このラベンダーの名前は公募により決定。美郷の初夏に美しい雪の結晶（雪華）が見られるように、という思いから名付けられました。

毎年可憐な花を咲かせ、ラベンダー園を訪れる人々の目を楽ませています。

現在開催中のラベンダーまつりでは、中富良野町から贈呈された「濃紫早咲」と併せて、紫と白の可憐なコントラストをお楽しみいただけますので、ぜひご来場ください。

ラベンダーの本場 中富良野町

中富良野町は北海道の中央部・富良野盆地に位置し、自然と景観に恵まれたまちです。

町営ラベンダー園には、ラベンダーを代表とする色とりどりの花畑が広がり、併せて富良野盆地を一望できる景観が楽しめます。その美しさを一目観ようと、年間90万人もの人が訪れます。また、十勝岳連峰の麓に広がる肥沃な大地では、中富良野町で力を入れているクリーン米を始め、メロンやスイカ、タマネギ、ニンジン、アスパラガスなどの作物が生産され、北国の農産物の宝庫といわれています。

町役場の位置

北海道空知郡
中富良野町本町9番1号
人口●5,201人
世帯数●2,187世帯
(平成27年5月現在)
面積●108.65km²

中富良野町

美郷町



美郷町ラベンダー園



美郷雪華

また、町では美郷雪華を用いた商品の開発に力を入れて取り組んでおり、花のエキスを主原料としたルームフレグランスや、花から酵母を抽出して醸造した日本酒、その日本酒の酒粕を利用したお菓子などが開発販売されています。詳しくは次ページをご覧ください。